

射水市芸術文化施設指定管理者 候補者選定委員会 会議録

1 開催日時

令和元年10月23日（水） 午後1時25分～午後3時30分

2 開催場所

本庁舎3階 会議室301

3 出席者

委員 榑岡委員、黒川委員、高野委員、松長委員、原委員

事務局 島崎市民生活部長、松下地域振興・文化課長、助田芸術文化振興係長
西川主任、河内主任

応募者（出席者）

(1) 新湊中央文化会館

公益財団法人射水市文化振興財団 中村亘、寺岡伸清、三舩江利子、圓酒英紀、新鞍隆

(2) 小杉文化ホール

公益財団法人射水市文化振興財団 中村亘、寺岡伸清、三舩江利子、圓酒英紀

(3) 大島絵本館

公益財団法人射水市絵本文化振興財団 立野幸雄、土田陽一

(4) 小杉展示館及び竹内源造記念館

小杉まちづくり協議会 前田二三夫、稲田輝夫

4 欠席者 なし

5 議題及び会議結果

(1) 委員長の互選及び副委員長の選出

委員長に榑岡委員、副委員長に松長委員が選任された。

(2) 該当施設応募状況について

資料2に基づき事務局から説明。質疑なし。

(3) 選定方法について

資料3に基づき事務局から説明。選定方法について了承。

(4) 応募者の採点及び指定管理候補者の選定について

①新湊中央文化会館について

応募者から提案内容等について説明を受け、審査の結果、公益財団法人射水市文化振興財団を指定管理者候補者とすることとした。

②小杉文化ホールについて

応募者から提案内容等について説明を受け、審査の結果、公益財団法人射水市文化振興財団を指定管理者候補者とすることとした。

③大島絵本館について

応募者から提案内容等について説明を受け、審査の結果、公益財団法人射水市絵本文化振興財団を指定管理者候補者とする事とした。

④小杉展示館及び竹内源造記念館について

応募者からの提案内容等について説明し、審査の結果、小杉まちづくり協議会を指定管理者候補者とする事とした。

6 会議資料

資料 1 射水市芸術文化施設指定管理者候補者選定委員会設置要綱

資料 2 該当施設応募状況について

資料 3 選定方法について（案）

資料 4 事業計画の概要

7 会議記録

(1) 新湊中央文化会館

① 質疑応答

委員 2年続けてオペラを実施する事業計画が出ている。入場料収入が少なく事業支出の多いオペラをなぜ2年連続するのか、集客が多く見込めるもっと幅広い対象者向けの事業も必要ではないか。また、500万の収入源は何なのか。

応募者 令和2年と令和3年のオペラ事業は中身が違う。来年は、地域創造からの助成を受けて実施できないか検討しているところである。採択がなければ、実施しない。

令和3年は、新湊中央文化会館の40周年記念事業として、市民手づくり・市民総参加の事業を考えている。

現時点では、あくまで提案の段階であり、今後、事業内容については、多目的ホールの特徴を生かした多様な事業を組み込んだものにしていく予定である。

委員 オペラでまちおこしの提案が出ているが、財源確保が何より大事であり、難しいものと思うが、目標は大きく広く持つていくことが大事だと認識しており、実現できるように頑張してほしい。

委員 提案では合唱団体に呼びかけるとしているが、そのほかにも文化団体はたくさんあるわけだし、もっと幅広い方々の参加ができるようなものにしてほしい。

応募者 オペラにはこだわらないが、当館は便利なホールゆえに、顔がないとも言える。事業の核を作りたい。40周年記念事業の方は、市民手づくりとしたのは、多くの市民に来てもらい、また、レポートしてくれることを期待しており、この事業はそういう「種」にしたいと考えており、是非実施したいと思っている。

委員 稼働率を向上し、利用料金収入を高くする目標を立てているが、その理由は。
応募者 これまでは、公演事業の実施に重点があり、施設の貸館についての PR が不足していた。稼働率が下がることに危機感を抱いており、目標を立てて積極的に取り組みたいと考えている。

委員 情報発信について、多様な SNS 活用とあるが、ホームページ以外でどんなものがあり、どんなことを行っていると考えているのか？

応募者 facebook や twitter 以外にも、若い職員の意見を聞きながら新しい SNS を活用していきたい。

委員 使いようによっては SNS は稼働率を上げるのに有効と思うのでぜひ活用してほしい。

委員 過去 5 年間の指定管理期間で相当の利益剰余金（一般正味財産）の積み上げがあるが、今後どのように考えているか。

応募者 平成 28 年度に定款を変え、特定費用準備資金として積み立てできるようにした。余剰が出れば積んでいき、周年記念事業に充てようと思っている。

委員 基本財産を含めて 8000 万円強あると思うが、財団としてどのぐらいの留保が適切と考えているか。経営安定化のためにある程度財産を積み上げておくのは分かるが、公益事業財団であるので、積上げすぎる場合については市民に還元されるべきではないかと思う。この点について財団で何か一定のルールを作っているか。

応募者 組織の安定的な資金は必要最小限にして、市民に還元すべきだと思っている。これについては我々自身も問題意識を持っているので、早急に今後の方針を整理したい。

②審査結果

採点結果は合計 394 点。平等な利用も確保されており合計点数が 300 点以上であるため、公益財団法人射水市文化振興財団を指定管理者候補者とする。

(2) 小杉文化ホール

① 質疑応答

委員 先日手作りマーケットが開催されていた。公共施設では営利目的の催しは断られることが多い中で良いと思った。作家のためや情報発信、また、稼働率をあげるためにも良いと思う。

応募者 条例では、営利加算をつけて会議室を貸すことができる。開催については内部で詳細を検討し、使用を認めた経緯がある。手作りマーケットは人気があり若者も集まり賑わいづくりに有効なイベントである。ホールを使用するル

ールを守っていただくことも確認でき、結果としてよかったと思っている。

委員 いみずアーティストクラブの創設について、各地域の人材に目を向けていただきたい。また、友の会会員の増加策は。友の会募集パンフレットには広告協賛もあったと思うがどうしてやめたのか。

応募者 友の会は今年から見直しを行い試行錯誤中である。2,3年しっかりやって検証したい。スポンサーについても再考中である。

委員 観客の入りが少ない赤字のときはどうしているか。

応募者 会計上は他の事業で振替えるか事業間で相殺する。予想通りに前売りが伸びないときは、中学生等を招待するなど次世代に還元できるようなルール作りを考えたい。

② 審査結果

採点結果は合計408点。平等な利用も確保されており合計点数が300点以上であるため、公益財団法人射水市文化振興財団を指定管理者候補者とする。

(3) 大島絵本館

① 質疑応答

委員 絵本夢回廊などは大変良い事業だと思う。孫とお出かけ事業関連してだが、大島絵本館は階段が多く高さもあり怖いと感じる。お年寄りなどの安全確保は。

応募者 大島絵本館は建築家による斬新な建物である。実際、年配者から階段が多いなどの声がある。視察で来られた方も同様のご意見がある。孫とおでかけ事業の来館者には実際若いおじいちゃんやおばあちゃんも多く、そういう方から苦情はない。階段を使わないで、ぐるっとまわって階上にあがる方法もあるので、表示等の工夫でわかりやすくなるよう努力したい。

② 審査結果

採点結果は合計408点。平等な利用も確保されており合計点数が300点以上であるため、公益財団法人射水市絵本文化財団を指定管理候補者とする。

(4) 射水市小杉展示館および射水市竹内源造記念館

① 質疑応答

委員 (仮称) 市民交流プラザ(旧小杉社会福祉会館)の開館も近く、来館者が増加すると見込まれる。これは要望であるが、館同士の連携や来館者の呼び込み

策を考えてほしい。

応募者 下条川ポケットパークも完成し、そのトイレ壁に小杉高校生が作った鰻絵額を飾っている。今後は鰻絵を見ながら館へ移動できるような、館と館を繋げる人の動線づくりを考えている。

委員 現在は駐車場が狭い。(仮称)市民交流プラザの開館により広い駐車場ができるので、お互いに活用して活性化を望む。

委員 家族で鰻絵ワークショップに参加して大変良かった。各種イベントや作成された旧北陸道マップなども素晴らしい。ところで事業計画に記載の「職員研修」は具体的にどのような内容か。

応募者 竹内源造記念館では鰻絵体験を実施しており、指導に携わる職員同士が互いに教えあつて鰻絵製作の技術を高めていく必要がある。また、壁屋(左官)さんに年2回来ていただいて鰻絵教室を開催しており、その際に、研修として職員が専門的な鰻絵技術を学ぶ機会を設ける。

② 審査結果

採点結果は合計416点。平等な利用も確保されており合計点数が300点以上であるため、小杉まちづくり協議会を指定管理者候補者とする。